

タイトル..私を愛してくれるよね?
超常現象研究部のヤンデレ先輩は催眠
好きく

■ヒロイン..愛島まりか

超常現象研究部所属。

超常現象研究部 자체は何を
してもいい自由な部活で、みんな
好き勝手研究したり

幽霊部員したりしている。

いつか自分好みの王子様が
現れた時のために催眠を研究している。
(実際に人にやつたことはないので、
覚えた知識を見様見真似)

ヤンデレ気質で、主人公に絶対に
自分を好きになってほしく、自分以外を
誰も見ないほど愛してほしい。
そのためなら拘束でもなんでもする。

普通にしゃべっているときは

ちよつとぶりっ子と言うか可愛い感じ。
ゆっくり話したり早口になつたり語尾を
上げたり、ヤンデレらしくお願ひします。
話し方は語尾を少し長めに伸ばしたり、
ゆっくりめで
話していくだけるとありがたいです。
ヤンデレで盛り上がつている時などは
少し早口めでお願いしたいです。

エッチシーンは喘ぎ激しめに
えっちな感じでお願いします。

■ 記号・位置指定のルール

▼ ハートマーク

一度つけた位置は以降の「」で同じです。
ただし、便宜のためページが代わるとき
などに改めてつけるときがあります。

★はSEです。●はBGVです。

//スタッフ
企画・シナリオ・
ディレクション..御厨みくり
声.. 柚木つばめ
イラスト.. なえなえ
ロゴデザイン.. ヲリ
音声編集.. Tonerico
台本化.. CPP・中島駿平

■ トラック1 王子様、見つけちゃつたあ…

…

★ ゆっくりめ足音

//右側後方から正面近くへ歩み寄りながら話します。

「(後方から)あのお……」

(正面) こんなにはあ……▼

あなた、新入生ですよね。
もしかして、部活、
探してますかあ……?」

「私、超常現象研究部つてところに入つてて。
男の子つて、そういうの好きかなつて」

「どうですか?」

「超能力とか、UFOとか予言とかあ……」

「そう、そうです、SFの世界つ。」

ふふふ、ロマンがありますよね~」

「活動は自由で、興味のあるものを
研究していく感じで……」

「部室に来るかどうかは自由なんです」

//泣きまね

「すごく緩い部活なんんですけど、

うちの部、

部員がすっごく少ないんですよ……
もし、今年新入部員が
あんまり入らなかつたら……
ぐすつ……部活、
なくなつちやうかもしれなくて……」

// 一歩近づく、やや見上げるよう

//正面近くで話します

「だから、もし、他に入りたい部活、

なかつたら……」

あなたと一緒に、部活できたら……
嬉しいなって思うんですけど……▼」

「入りたい部活、まだないですか……？」

じやあ……▼ 良かつたら、

超常現象研究部、

入つてくれませんかあ？」

「うちの部だつたら忙しくないですし、

学業にも専念できますし、

……ほら。恋愛とかも……▼」

「もしかして、彼女さんとか、

いるんですか……？」

……あ、まだいないんですね。

……よかつたあ」

「七森はこの間まで女子高だつたし……▼

女の子、いっぱいいますよね？」

意中の女の子とか、見つけましたあ？」

//正面近くから左耳元へ移動しながら囁
きます（内緒話のように）

「恋愛とかあ、男の子だもん、

興味、ありますよねえ……？」

「結構、七森の女の子たちの間でも、

今回の共学化で、

みんなそわそわしてるんですよ……▼」

「//左耳元で囁きます

「お嬢様学校だから、

みんな男の子と接したことのない人が

多くてえ……

男の子に興味深々で、

恋愛してみたいって人も、多いんです」

「あなたとか、すつごく、

モテちやうんじやないですかあ……？

たくさん話しかけられますよね？

告白されたりしましたかあ」

「//左耳元から正面へ移動しながら話します

「え、そんなことないですかあ？」

ふふ、まだみんな、

恥ずかしがってるのかもしれないですね」

「私はあ……あなたと部活、

したいなって……▼

あなたにアプローチかけちゃう、
第一号になっちゃいます……▼」

「私、あなたのことが気になつてて、
あなたのことを

もつと知りたいんですけど、
どうですかあ……？」

「あ、もちろん、あなたに他に好きな人ができたら諦めますし……」

//正面で話します

「ね？　ね？」

あなたにすつごく興味がある私と、
良かつたら、一緒に、部活、
してみませんかあ？」

「……えつ、いいんですかあ？」

そうですか、入りたい部活も
特になかったんですねつ……」

「わあ……嬉しい。

すつごく、嬉しいです……▼」

「じゃあ、じゃあ、待つてますからね？」

ちゃんと、

入部届け出してきてくださいね？」

「ちゃんと、一人で出しに行けますか？」

職員室まで付いて行つて

あげましようか？」

あ、顧問の先生にも紹介しないと……▼」

「大丈夫ですか？　一人で行けますか？」

「じゃあ……」

大人しくあなたを信じて待つていますね」

「あなたと一緒に部活できるの、

すごく楽しみにしてますから……▼」

「じゃあ、いってらっしゃいです▼」

★足音　主人公を見送る

//編集で聞いてる方が音量上げないと聞こえない程度

//後方、小声でつぶやきます

「ふふふ……」

なんて、かつこいい子に
会つちゃつたんだろう……▼

「私の、王子様……▼」

絶対に……私のモノにしてみせる……』

「そのためなら、私、
なんでもしちゃう……
逃がさないからあ……▼」

★フェードアウト

■ トラック2 私の声でリラックスしてください さいね

★ ドアを開ける音

//正面遠くから話します

「あつ▼ こんにちはあ▼

入部届、出してくださったんですね」

★ ドアを閉める

//正面近くに近づきながら話します

「顧問の先生から聞いて、

居てもたつてもいられなくて」

//正面間近、抱き着く

「はあああ……

あなたが入部してくれて

良かつたあ……▼」

「私、ずっと、ずっと待ってたんです。

今日から、あなたは

私の可愛い可愛い後輩さんですね▼

ふふふ、よろしくお願ひします♪」

//正面近くに離れる

「……あつ、いけない。

私、自己紹介してなかつたですよね」

「愛島まりかと言います。

まりか先輩って呼んでくださいね?

はい、言つてください。

まり、か、せ、ん、ぱ、い……つて▼」

//間5秒程度

「……ふふふ、いいです。いいですね。
ふふふふふふ……
はあ……録音して
ずっと聞いていたいくらいです……」

「//左右のぞき込みながら
「あなたって、

「顔もすごく可愛いんですけど……
声も、すごくいいですよねえ……」

「//左右のぞき込みながら
「ずうっと、聞いていたく
なつちやう声つていうか……▼
私と居るときは、

たくさん喋つてくださいね」

「//正面近くで話します

「あ、スマホ持つてますか?
連絡先、教えてください▼」

「これから同じ部活なんですから、
連絡取れたほうがいいですよね？」

★スマホ取り出し、いじり

「あ、入力するので、
ちょっと貸してくれますか?
あ・い・じ・ま・ま・り・か……
と……▼」

// ちょっと怖い感じで左耳元に囁きます

「……連絡先、

結構いっぱい入ってるんですね」

「//」まかすように可愛く左耳元から正面
近くで話します

「いえ、お友達が多いのは、
すぐくいいことだと思いますよ？」

「……はい、できました♪

いっぱい連絡してくださいね」

「あなたからの連絡、
いつでも待ってますから」

「あ、私は先輩なんだから、

敬語っていうのもあれですよねえ……」

//「こからタメ口。催眠の時などは敬語
です。

「じゃあ、今から、タメ口にするね……▼
あなたも、タメ口でいいよ？」

「そんなん……」

これからもっと深い関係になつていくんだから
気にしなくていいのに……」

「ふふ、真面目だなあ……▼

そんなあなたも可愛い……▼」

「正面近くで話します

「あ、それで、私の研究の説明をするね。

私は超常現象研究部で、

催眠をテーマに研究をしてるの」

「催眠って怖いイメージがある?
えー、怖くないよお?」

「正面右側に歩きます

「相手を思い通りにするんじやなくて、
催眠で深層心理を
引き出してあげたりい……」

「正面左側に歩きます

「催眠療法って言つて、

リラックス効果を

もたらすものもあるんだよ。

ヒプノセラピーとも呼ばれてるの」

「正面近くで話します

「そうだ、一度……やってみる?

ヒプノセラピー。

資格があるわけじやないけど、
簡単な物なら私にもできるから」

「正面間近に近づいて小声で話します

「ちよつとだけ、試してみよつか……?
なんとなく感覚掴むような、
お・た・め・し……♪ ね?」

★右側遠くに歩いていく足音

★シャツ、カーテン閉め

//右側遠くに移動しながら話します

「カーテンを閉めて、薄暗くして……」

「じゃあ……この椅子に座つてくれる? 深く座つて、深呼吸してね……」

//右側遠くから左側遠くへ移動しながら話します

「アロマとか炊いてみようかな……苦手な匂いだつたら言つてね」

★正面間近へ近づく足音

//演技..ここから催眠・

//正面間近で小声で話します
「ゆっくり……」

「目を瞑つてください……」

★音楽作曲して流せそなら
ヒーリングミュージック

//左側耳元で囁きます

「大きく……深呼吸して……
すう……はあ……
しつかり……リラックスして……
私の言葉に……耳を傾けてください……」

//演技..音楽しつかり聴かせて、合間に少しほのめり入るような感じでお願いします。

//左耳元で囁きます

「入学して……ここまで……

あなたの身体には……

知らず知らずのうちに……

疲れが……溜まつてていると思います……」

「それを……少しづつ、

開放していきましょう……」

「あなたは今……

真っ白な雲に包まれています……

指先から……足先まで全て……

温かくて……穏やかで……」

「ふわふわしてて……

身体に重さを感じて……

全ての力が抜けていきます……」

「頭の先から足の先まで……

全てが……柔らかさと……

温かさに包まれて行きます……」

//右耳元へ移動しながら囁きます

「目の前が……ふわふわの雲で

真っ白になるイメージをして……

ゆっくり……深呼吸してください……」

「真っ白な雲の中で、

ふわふわ浮いているイメージができましたかあ……？」

「それでは、ゆっくり質問していくので……無理せず、正直に答えてくださいね」

//右耳元で囁きます

「学園生活は……どうですか……？
楽しいですか……？」

「ふふふ……、女の子がたくさんいて、
まだ大変なんですねー……▼」

「学園もまだ男の子がいるのに
慣れてないですしね。

トイレや更衣室も急いで
作ったものですし、困りますよね」

「お友達は……出来ましたかー……？
へええ……やつぱり……

女の子のクラスメイトに
よく話しかけられるんだー……」

//右耳元から正面間近へ移動しながらち
よつと怖い感じで小声で話します

「……ふうん……」

「ううん、あなたがすつごく
魅力的だからだよね？」

「こんなに女の子多いんだもん。

目移りしちゃうの、仕方ないよね」

//正面間近から左耳元へ移動しながら囁
きます

「じやあ……今、

心配事は何かありますかあ……？」

//左耳元小声で囁きます

「……そつかあ……」

共学になつたばかりの学園じや……

他に男の子が少なくて、

不安だよねえ……」

「お嬢様ばっかりなのも……？」

あなたのお家はそこまで

お金持ちじやないんだ……？」

「あは、七森の学生もそこまで
みんなお嬢様つぽくはないでしようよお」

「私だつて……別に、

お嬢様つぽくはないでしよう？」

「あなたが意識しちやうつて
言うんだつたら……」

いくらでもあなた好みに変わるけど……」

「あはあ、このままで、いいの？
じやあ……このままあなたに接するね」

「まだ……不安はあるだろうけど……

七森学園に入学して、良かつた……？」

……うん、良かつたあ……」

「私もお……」

あなたが入学してきてくれて、
あなたに、会えて、すごく、すごく、
嬉しいよ……▼

／＼左耳元小声で囁きます

「不安な気持ちを、今は、全て忘れて……
ゆっくり呼吸をして……」

「目を瞑つたまま……」

「リラックスしてくださいーい……」

●呼吸のみ（左耳元）

「眠くなつたら……」

「眠つちゃつても……いいからね……？」

「今まで張り詰めていた緊張が……
少しでも……晴れるように……」

●呼吸（左耳元）

／＼左耳元小声で話します

「じやあ……少しずつ……音楽、
小さくしていくね……
包まれていた雲が……
少しずつ晴れていきます……」

「ゆつくりと……」

「足が地面にしつかりついていきます……」

●呼吸（左耳元）

／＼左耳元から正面近くへ移動しながら話

します

「……どう……？」

「少し、すつきりしたかなー？」

「これが催眠つて言うんだよお」

//正面近くで話します

「なんだか、

疲れが取れた感じがするでしょ？

不安な気持ちも、少しなくなつたかな？」

「悩んじやつて落ち着かないときは、

目を瞑つて、

深呼吸して自分でやつてみるのも

いいよお」

//右耳元へ移動しながら囁きます

「その時は……（移動）

今日の、私の声……

思い出してくれると嬉しいなー？」

//右耳元から正面近くへ移動しながら話

します

「明日も部活、来てくれる?

来てくれるよね？

私、あなたに会えるの
いつでも待つてるから」

■ ト ラ ッ ク 3・ 私 の 「 と 、 特 別 ? 特 別 だ よ ね
? 意 識 し ち ゃ う よ ね ?

★ 扉 の 音

// 正面遠くから正面近くへ移動しながら
話します

「わあああああああ▼」

今日も来てくれたんだあ▼」

「他の部員? みんなそれぞれ
研究してるんじやないかなあ?」

「大丈夫、誰も来ないから。
とにかく、

今日も一人つきりだよお……▼」

「あーあ……▼」

部活じやないとあなたに
会えないなんて寂しいな……▼
あなたのクラスメイトが
すつごく羨ましい……」

「こーんな素敵なあなたのこと……
毎日何時間も見てられるなんて……」

「はあ……年の差って
なんて残酷なんだろう……」

「でもお……先輩として

こうしてあなたに出会えたんだから、
それは感謝しないとね……▼」

//正面近くから話します

「昨日の催眠療法はどうだった?」

(間5秒程度)

よく眠れたんだあ……▼良かつた▼」

「じゃあ……今日は舞台催眠って言うの、やつてみない?」

「舞台催眠って言うのは、

よくテレビで見る一般的な催眠だね」

「自分の意識とは違う、

潜在意識に語り掛けるみたいな」

「……ね。ちょっと……」

興味が出てきたでしょ……?」

「大丈夫、変なことはしないからあ……▼

ね、ね?」

こういうものなんだって言うの、あなたにわかつて欲しいんだよ▼」

「はい▼ ジやあ、

今日もこの椅子に深く座つて……」

★カーテンを閉める

//正面近くから右側遠くに移動しながら話します

「カーテンを閉めて、薄暗くして……

今日は足元にランプを置いてみようか」

／＼右側遠くから正面近くへ移動しながら話します

「それじゃあ……始めていくね……▼

目を……瞑つて……

足元のランプの温かい光に……

集中してください……」

★ 小さめ音楽

／＼左耳元へ移動しながら囁きます

「大きく深呼吸して……

目を瞑つても

温かい光を感じますか……？」

「ゆっくり……ゆっくり……深呼吸して……

温かい空気を全身に送るように……」

「指尖から……足の先まで……

光の温かさに……包まれて行きます……」

「深く深く……

光と、一体化するように……

沈んで……沈んで……いきます……」

●呼吸（左耳元）

「私の……声と……問い合わせだけに……
耳を……傾けてください……」

「今は返事は……しないでください」

//左耳元で囁きます

「あなたは……」

「あなたは……だんだん声が出せなくなつて……
だんだん声だけが……すぐ……すぐ……すゞ」
ただ……私の声だけが……
頭に残ります……」

「あなたは……だんだん……

私の声だけが……すぐ……すぐ……すゞ」
頭の中に……残るようになつて……
いきます……」

「あなたは……これから……

どこに、いても……

つい……私の声を……

探してしまふようになります……

私の声がないと……

落ち着かないようになつていきます……」

//左耳元から右耳元へ移動しながら囁き
ます

「私の長い髪が……

あなたの……目の前にあります……」

「手を……動かさないまま……

頭の中……意識の中で……そつと……
長い髪に……触れて行つてください……」

「頭から……毛先まで……
ゆつくり……撫で……

艶々の感触を……楽しむように……」

//右耳元で囁きます

「長い髪の全てを……」

触れてない場所がないように……
ゆっくり……ゆっくり……

触れていきます……」

●呼吸（右耳元）

//正面後ろに移動しながら左耳元で囁きます

「今度は……肩に……」

温かさと重きを感じて行きます……」

「私の身体がゆっくり……」

覆いかぶさつて……」

背中から、私に……抱きしめられて……

温かさに……全て包まれていきます……」

「私の……おっぱいが……」

あなたの背中に……当たっています……」

「身体が……背中からだんだんと……」

温かく……温かくなっています……」

「私の……体温を感じながら……」

私に……全てを委ねて……」

私だけを……感じてください……」

「今度は……」

私が……正面から……」

あなたを抱きしめて行きます……」

//正面後ろ左耳元から正面間近にゆつく
りと移動しながら囁きます

「背中についた感覚が……
ゆつくりゆつくり……

消えていきます……」

//右耳元で囁きます

「あなたの膝の上に乗つかつて……
膝の上に重さと温かさを
感じて行きます……」

「私が目の前にいるの……感じますか……?
あなたの……顔の目の前に……
私の……顔が……あります……」

「私の……吐息を感じてください……
目の前に……私の……唇が……
あることを……想像してください……」

「あなたの……唇が……
ゆつくりと……

冷たくなっていきます……」

「温かさを求めて……

「目の前にある……私の……唇が……
すゞく……温かそうで……
柔らかそうで……
あなたは私の唇に……キスを……
したくなつていきます……」

「……ふふ……キスがしたくて……
唇が、そつと動いてますよ……▼」

//右耳元で囁きます

「あなたは……私とキスがしたくて……
口の中が……少しづつ……
渴いていきます……」

「キスがしたくて堪らなくて……
唇が……寂しくて……

私が欲しくて欲しくて……
堪らなくなっています……」

「//右耳元から正面間近へ移動しながら小

声で囁きます

「では……▼

今から……私の唇が……
少しずつ……少しずつ……
近付いて……いきます……▼

「私と……キスをしたら……
唇が……温かくなつて……

口の中の渴きが……
和らいでいきます……」

「……ちゅっ……」

「ふふ……キス……しちやつたあ……
もう少し……▼

ちゅっ……ちゅう……▼

ちゅ、ちゅうう……

はあ……はああ……▼

「ふふふ……あなたは今……
部活の先輩と……

キスしちやつてるんですよお……▼

//右耳元へ移動しながら囁きます

「唇が……温かく……」

なりましたかあ……？」

もつと欲しくなつちやつたあ……？」

//正面間近へ移動しながら囁きます

「じやあ……もつと、もつとお……▼

ちゅつ……ちゅうう……

はあ……ちゅつ、ちゅる……

はあ……あつ……ちゅつ……」

//右耳元へ移動しながら囁きます

「ふふ、喉が渴いてたから、

舌を入れたくなつちやつたんですね」

「いいですよ……▼

私の口の中を全部

ぜーんぶ舐めとつて……

私の唾液をいっぱいいいっぱい

飲んでください……▼

「あなたの口の中を……

私の唾液で

いっぱいにしてください……▼」

//右耳元から正面間近へ移動しながら囁きます

//演技..唾液多めディープキス

「ちゅつ、ちゅぱあ……」

じゅるるつ……ちゅつ、ちゅうう……んむ……

じゅる……ちゅつ……

ふう……ちゅつ、ちゅぱあ……

じゅる、ちゅつ、ちゅうう……

ちゅつ、ちゅる……」

「はあ……目を瞑つたままなのに……

なんだか、満たされた顔してるね……

私とのキス……

気持ちよかつたんだあ……▼「

●ディープキス

//正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「ふふ、もつともつと、も一つと……▼

キスしたくて堪らないって顔、

してるねー……▼」

「で・も……▼

今日は、ここまでにしましよう……▼」

//正面間近から正面近くへ移動しながら

小声で話します

「全身から……ゆっくりと

空気と同じ気温に同化していきます……」

「//正面近く小声で話します

「少しづつ……指先に力が戻つて……
動くようになっていきます……」

「……はい。

深呼吸をして……

自分のタイミングで……

そつと、目を開けてください……」

「//正面近くで話します

「はい▼お疲れ様でした▼

「どうだつたあ……？ 舞台催眠」

「思つてたのと、違つた？」

「ふふふ、それはあ、私からの、
特別なプレゼントだから……▼」

「どうしたの？」

「また唇が小さく動いてるよ……▼
もつと、キス、したいんだ……？」

「ダメだよお……▼」

「今日は、私と、キス、したくてしたくて、
堪らないまま帰つて……」

「明日……また……部室に来てね……▼」

「そうしたら……

「ご褒美、あげるから▼」

「明日も……待つてるからね……▼」

■ トラック4・拘束してえつちな暗示しちゃうう催眠オナニー

//」のトラックからBGMが出てきます。
耳舐めの前後には咥え、離れのアドリブ
をいただけますと幸いです。該当箇所で
も注釈を入れておきました。

★扉の音・急いで開ける

//正面遠くから正面近くへ移動しながら
話します

「ふふふ、今日は早いねえ。
私に会いたくて会いたくて会いたくて、
堪らなかつたんだあ……▼」

「えへへ、嬉しいな。

あなたと同じ気持ちで居れるなんて」

//演技・悲しそうに

「そんな……

私が変なことしたから、なんて……

私とのキス……

気持ちよく、なかつたの……？」

//右耳元で小声で話します

「私は、すごく、気持ちよかつたよお……
あなたも、そうだよね……？」

「ファーストキス、貰つちやつたけど……

他に好きな人がいるわけじやないなら、
今は、いいよね？」

他に好きな人ができるなら、教えてね」

／＼演技…ちょっと含み

「そうなつても、私……大丈夫だから……▼」

／＼右耳元から正面近くへ移動しながら話します

「じゃあ……

一日我慢してくれたあなたに、

ご褒美♪……▼

はい、いつもみたいに、椅子に座つてね』

★縛り。縄の音など？がたがたしてる感じ

／＼正面後ろから話します

「はい、暴れない暴れなーい▼

今日はあ、

立ち上がりないように拘束しちゃうよ▼』

「お手手も使えないようにしようね……▼

それから、アイマスクも……▼

／＼正面後ろから左耳元へ移動しながら囁きます

「今日はあ……
真っ暗な状態で……

あなたに……えっちな催眠を……
掛けていきます……▼』

★カーテンを閉める

／＼正面近くから話します

「大丈夫だよ、私しかいないから……
扉も鍵をかけてるし、

他の部員も誰も来ないよー▼』

「正面近くから話します

「大丈夫、怖いことはなーんにも、
しないからあ」

「怖がらないで、私に……

ぜーんぶ、さらけ出してね……▼」

「正面近くから右耳元へ移動しながら囁

きます

「ゆっくり、深呼吸してえ……

私の声だけをしつかり聴いて……

……力を抜いて、

私に身を任せください……」

「深く……深く……

暗闇に落ちていきます……」

「縛られたロープの箇所から……

身体が……ゆっくりと……

熱くなっています……」

「じわじわと……

ロープで縛られた箇所が……

熱を……帶びていきます……」

「熱くて……熱くて……熱くて……

その熱が……全身に……

伝わっていきます……▼」

「全身に……熱さが……

循環していきます……」

//右耳元小声で囁きます

「循環した……熱が……今度は……
身体の……中央に……」

//右耳元で囁きます

「あなたの、おちんちんの場所に……
熱が……集まつて……
集まつて……集まつていきます……▼」

//右耳元から正面近くへ移動しながら小
声で話します

「よいしょ……▼」

★衣擦れ・制服を脱ぎ

「あなた目の前に……
制服を脱いで……
おっぱいをさらけ出している……
私が居ます……▼」

「見えない状態で……
私のおっぱいを……
想像してください……▼」

「柔らかくて……温かくて……
あなたの全てを包み込んでくれる
おっぱいです……▼」

「おちんちんが、
むずむずしてきましたかあ……？」

//左耳元で囁きます

「熱さがどんどん……

集まつて、集まつて……

どんどん……

触りたくなつていきます……」

//左耳元から正面間近へ移動しながら小声で話します

「自分のお手手で……

いじいじつでしたく

なつてきましたかあ……？」

「触ろうとしたら、ダメですよお……▼

あなたは……

これから手を使わない今まで……

気持ちよくなつていきます……▼

//正面近くから右耳元へ移動しながら囁きます

「今から……あなたの……

お耳を舐めていきまーす……▼

「ちゅつ……ちゅう▼ はあ……

ちゅる、ちゅつ、ちゅぱ、ちゅつ……▼

じゅる、ちゅつ、ちゅぱあ、ちゅつ、

ちゅるるつ……じゅ、じゅう……

ちゅつ、ちゅう、

ちゅつ、ちゅぱあ……▼

ちゅつ、ちゅるるつ、

じゅる、じゅるるつ……

〔…〕

//右耳元で囁きます

「あなたは……お耳を舐められてるのに……
おちんちんを舐められている
感覚になつていきます……▼
はあむ…」

●右・耳舐めループ

「ちゅぱあ…
はあ……はああ……美味しい……▼
おちんちん……すゞく……
美味しいよ……?
ちゅつ、ちゅる……ちゅぱあ……」

「あなたのおちんちんが……
私のお口で……
ぺろぺろ舐められている想像を……
してください……▼
はむ…」

●右・耳舐めループ

//右耳元から左耳元へ移動しながら囁き
ます

「ちゅぱ…
今度は……こつちから……(移動)
ちゅつ……じゅ、じゅるる……
ちゅつ、ちゅぱあ……
じゅつ、じゅるる……
じゅ、ちゅつ、ちゅうう……
はああ……ちゅつ、ちゅう……
ちゅつ……」

//以降も耳舐めBGW前後、咥え始めや離れの際に適宜演技をお願いします。

「硬くて、すっごく大きくて……
ふふふ……すごくすごく……
かっこいいよ……▼」

●左・耳舐めループ

//左耳元で囁きます
「美味しくて、美味しくて……はあ……
もつともつと激しく……
舐めていきます……▼」

●左耳舐め・激しめ

//左耳元で囁きます
「はあ……おちんちん、先走り……
出て来ちゃったあ……？
もう、我慢できないんだあ……▼」
「じゃあ……私に……
手で『しご』しされてる、想像……
してください……▼」

「お耳を舐めながら、手で、
『しご』しごりますね……▼」

●左耳舐め・激しめ

//左耳元で囁きます
「はあ、はああ……▼
おちんちん、
ビクビクしてきちゃったねえ……▼」

//左耳元で囁きます

「せーえき……▼

おちんちんの先から……
出したくて出したくて、
堪らないんだあ……▼」

「んちゅつ、ちゅつ、ちゅぱあ……
じゅるつ、じゅるるるつ、
はあ……そのまま、出して……
出してみて……？」

「私におちんちん

しごかれてる想像しながら……
お手手使わないで、
せーえき、びゅつびゅつて、
してー……▼」

●左・耳舐め・激しめループ

//左耳元で囁きます

「はあ、はああ……

せーえき、出そうになつてきたあ……?

ちゅつ、ちゅる……

おちんちん、むじゅむじゅつてえ……
してきちゃつたあ……?」

●左・耳舐め・激しめループ

「出ちやう……出ちやうの……?
はあ……いいよ……
いっぱい、出して……?」

「//左耳元で囁きます

「ちゅつ、じゅるつ、ちゅ、ちゅう、ちゅつ、
ちゅぱ、ちゅつ……ちゅう、ちゅつ……」

「……あ……▼」

「//射精

「//左耳元で囁きます

「身体、ビクビクして……▼

「出ちやつたんだあ……」

「//左耳元から正面間近へ移動しながら小
声で話します

「すごいね、いっぱい出したねえ……▼

「触らないで……」

パンツの中に出しあちやつたんだあ……▼

「はああ……▼せーえきの……

「えつちな匂い……するう……▼」

「//正面近くから右耳元へ移動しながら囁
きます

「ふふ……ゅつくり、深呼吸して……

余韻に浸りながら……

だんだんと……

地面についた足に……

力が入っていきます……▼」

「//右耳元から正面近くへ移動しながら話
します

「……はい、おしまい……▼

「どうだつたあ？ 喜んでくれたかなあ？」

「ふふふ……大丈夫だよお……▼

制服とパンツ、汚れちゃつたこと、
気にしてるんでしょ？」

「ちやあんと……

このために替えの制服も、
パンツも用意してるから▼」

//正面近くから話します

「あなたのサイズぴったりだから安心してね。

洗濯は明日までに

私がちゃんとしてきてあげるから、

大丈夫だよ▼」

「そんな顔しなくていいんだよ？

私はあなたの先輩なんだから、

これくらい当たり前だよお▼」

//左耳元で囁きます

「早く着替えて、一緒に帰ろう？

……明日も、絶対来てね……▼」

■ トラック5. それって恋だよ？告白してくれるよね？

★次のセリフ壁越しに

//正面遠くから話します

「そろそろ……来るかなあ……▼」

★扉の音

//正面遠くから話します

「あ▼ 来てくれたあ」

//正面遠くから正面近くへ移動しながら
話します

「そろそろ、

来てくれる頃だと思つてたんだよ？」

「あれ、どうしたの？」

なんだか、頬が赤くなつてるよ……▼」

//のぞき込むように

「私の顔見て、緊張してるの？」

そっぽ向かないで、可愛い顔、見せて？」

「どうしたの？」

自分の気持ちが……

わからなくなつちやつてるの？」

ただの先輩なのに……

つて、思つてるの？」

「そしたら、それも……

催眠で自分に聞いてみる？

あなたの深層心理、私に教えて？」

//正面近くで話します

「あはあ、あなたも催眠慣れてきたかな?
すつゞく素直だね▼」

「大丈夫、今日は縛つたりしないから……
リラックスしてね?」

★歩く足音

★カーテンを閉める

★ヒーリング音楽

//正面近くから右耳元へ移動しながら囁
きます

「目を閉じて……

ゆっくり、深呼吸をしてください。

私の声だけに……

耳を傾けてください……」

「ゆっくり……ゆっくり……

身体が……重くなつていきます……」

「身体の中心……

一番奥を意識して……ゆっくり……

深く……深く……沈んでいきます……」

「沈んで……沈んで……

あなたの心の一番奥まで……

辿り着きました……▼」

「私の問いかけに……

正直に答えて言つてくださいね……?」

//右耳元で囁きます

「あなたは……私のことを……
部活の、先輩のことを……
どう……思っていますかあ……？」

「……出会つてまもない……？
確かに、そうですね……」「

「でも……気になつちやう……？
どんなふうに、
気になつちやいますかあ……？」

「つい……私を探しちやう……？
私が傍に居ないのが……
落ち着かない……？」

「身体が……

▼
私を求めちやうんですねえ……

「ふふふ……

それつてえ……恋、ですね……？」

「恋です、恋ですよお。

あなたは、

まだ出会つて間もないのに……
私に、運命を感じちやつてえ……
私なじじや生きられない身体になつちやつたんですよお」

//右耳元で囁きます

「……ほ、ら。

こうやつて耳元で囁かれるのも……
癖になつてきちゃつたんじや
ないですかあ……？」

「私の声を聴いているだけで……
身体の奥が熱くなつて、
もつと、してほしいって

思つちやうんじやないですかあ……？」

「それはあ、恋……恋ですよお……?
あなたは、私のことを、
愛しちやつたんですよ……?」

「愛しちやつてる人にはあ……」

正直に、自分の気持ちを
伝えるのがいいと思いますよお……?」

★音楽止め

//右耳元から正面間近へ移動しながら小
声で話します

「じやあ……

自分の気持ちをまつすぐに……
私に……告白してください……▼」

//呼吸のみ5秒程度・告白しているよう
に

「//正面間近で小声で話します

「ふ……ふふ……ふふふ……

嬉しい……嬉しい……

すつづく、嬉しい……▼」

「私も、あなたのこと、愛します。

世界で一番愛してる。一生大事にする」

「ずっとずっとずっと、

離さない、絶対離さないからあ。

ずっと一緒に居て、幸せになろうね▼」

「今日から私が彼女だよ？

私のことは『まりか』って呼んでね？

はい、言ってみて……？」

//間

「んふ……ふふふ……嬉しい……▼」

「//正面間近から正面近くへ移動しながら
小声で話します

「結婚はもう少し先になつちやうかもだけど、
婚約は早めにしちやおうね？」

「あなたの両親にも(挨拶しなきや。

私のこと、

娘だつて思つてくれるかなあ？」

「あなたのことこんなに愛してるので
伝わるようになきや。

私たちの関係、認めてくれるといいな」

//正面近くから話します

「それじゃあ……▼

スマホ、出してくれる?」

★スマホ取り出し

「じゃあ、女の子の連絡先、
全部、消そうね?」

「メールと電話番号もだし、
SNSも全部だよ?」

あなたのスマホで連絡を取れる女の子は、
私だけにしてね?」

「あ、お母さんとかおばあちゃんとかは
もちろん残していいよ。

家族は大事だもんね」

「これからは私のお母さんと
おばあちゃんにもなるんだから……▼」

★スマホをいじるようなポチポチした音

「へえ……

こんなに連絡先入つてたんだねえ……」

「これは前の学校の人?」

もう会うことないから消していいよね」

「これはクラスの人……?」

男の子のお友達だつたらいいよ。

女の子だつたらみんな消してね」

「正面近くから話します

「クラスのグループがあるの？」

「それは抜けちゃおつかあ」

「大丈夫、

スマホ持つてない人だつているでしょ？」

「連絡なんて、

わざわざ取る必要ないよお。

もし必要なら、

私が仲介してあげるから▼」

「あなたにとつて大事なのは私だけだよ？

私がずっと傍に居るから……

私だけ、見ててね？」

「約束だよ。

絶対、絶対、絶対だからね……？」

「もし、私に隠し事したりしたらあ……

私、ショックで……

どうなつちやうかわからないかも……▼」

「正面近くから左耳元へ移動しながら囁

きます

「ふふふ、（移動）

「これから、よろしくね」

■ トラック6. 獣みたいに愛して?

//最初から催眠

★音楽

//演技..えつちな催眠なので、吐息など工夫してちょっとえつちな感じにお願いします。

//正面間近小声で話します

「そつと……目を、瞑つてください。
椅子に腕を掛けて……
リラックスして……
深呼吸をするたびに……
身体から、力が抜けていきます……▼」

「自分の身体じやないみたいに……
身体が、どんどんどんどん、
重く、重くなつて……
椅子に支えてもらつてる
みたいになつていきます……▼」

//演技..小声中心で、えつちな言葉などは囁きで、どちらかというと囁き多めでお願いします。

//正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「あなたは……眠る寸前のような……
真つ暗闇の中にいます……」

//右耳元小声で話します

「今から……身体の……中央が……
あなたのおちんちんが……
熱く……熱く……
熱くなつていきます……▼」

//右耳元で囁きます

「あなたの……おちんちんは……
私のおまんこに……
入りたくて入りたくて……
入りたくなつて……▼
どんどん……熱く……
熱くなつていきます……▼」

「熱く……熱く……

すゞく……大きくなつて……
すゞく……すゞく……
苦しいくらいです……▼」

「……はい▼

あなたの目の前には……
裸の私が居ます……▼」

★クチュ音・小・ループ

//演技・オナニーしてゐる風

「んあ……はあつ……あつ……
くちゅくちゅつて……
聞こえますか……？
あ……あつ、んんつ……
んふ……んつ……▼」

//右耳元で囁きます

「こ」れはあ……▼

私の、おまんこの愛液の音です……▼

「はあつ……あなたが欲しくて
びちよびちよになつて……

あなたが来てくれるのを
待っています……▼」

★くちゅ音止め

//荒い呼吸・5秒程度

「今からあなたは……

狂暴な狼さんになります……▼」

「狂暴な狼さんは……

おちんちんの性欲に正直になつて……▼

はあ……▼

私のおまんこに……

熱くなつたおちんちんをねじ込んで……

真っ白なせーえきを、

びゅつびゅつて

しなきやいけません……▼」

「あなたの……大事な赤ちゃんの種を……

私の子宮に何回も何回も届けて……

今日だけで……絶対……

妊娠させてあげなきやいけません……▼」

「限界まで、何回も何回も腰を振つて、

いっぱいいっぱい気持ちよくなつて、

真っ白なせーえき、

いっぱい出してください……▼」

//右耳元で囁きます

「それが……狼さんとしての……」

あなたの本能で……」

そうじやないと、熱く熱くなつた

あなたのおちんちんは……」

おさまりません……▼」

「あなたは狼さんだから……▼」

性欲を、欲求を、治めるためなら、
何をしても構いません……▼」

「はあ……▼狼さんなんだからあ……

多少、乱暴にしちゃつても……

仕方ないです……▼」

「私は……あなたの全部を……」

受け止めちゃいます……▼」

「はあ……楽しみすぎて……幸せ……▼」

「犯したい、犯したい、犯したい、

犯したいって……

その気持ちだけで……

あなたは……

頭がいっぱいになつていきます……▼」

「私を絶対孕ませて、

赤ちゃん産ませてやるつて、

思つてくださいね……▼」

「はあ……吐息が……

荒くなつてきましたね……▼」

//右耳元で囁きます

「もう、無理……」

犯したくて犯したくて堪らない、
我慢できないって思つたら……
だんだんと……指先から……
感覚が戻つていきます……▼」

「目を開けたら……」

目の前にいる裸の私を……
狼さんみたいに……
犯しちゃうんですよ……▼」

「あはあ……感覚、
戻つてきましたか……？」

「じゃあ……3、2、1で
目を開けてくださいね。
3、2、1……はい▼」

//右耳元から正面間近へ移動しながら話

します

「きやつ……▼」

★バンつ、押し倒すような音

//正面間近で話します

「はあ、あつ、そう、そうですよつ▼
おまんこ、おまんこだけ目掛けて、
挿入してくださいつ▼
入りたい、入りたいって、
してくださいといつ▼」

//正面間近で話します

//演技・挿入

「あっ、あああっ、あああつつつ▼」

「はあああああっ！ 入っちゃった、
入っちゃった、

入っちゃったあああああ▼」

「あなたのおちんちんつ、
私のおまんこに、

入っちゃってるよおつ▼▼▼」

「はあっ、あっ、あああつ、ん、んう、
あっ、ああつ▼ あっ、ああつ▼
はああつ、幸せすぎて、
おまんこがあなたのおちんちん、
絶対放さないって抱きしめてるつ……▼」

「はああつ……」

とにかく、出したくて出したくて、
苦しそうだね……▼
いいんだよ、いっぱい、いっぱい、
いっぱい動いて？」

★クチュ音・パンパンループ

「あああああつ▼ あ、あああつ、
そう、そうう、あああつ▼
おちんちん、気持ちいい、
気持ちいいよお▼」

//正面間近で話します

「ひくう、あ、あつ、あああつ、
あつ、あああつ！
大好きな人のつ、おちんちん、
やばい、やばいつ、あああああつ、
気持ち、よすぎてつ、すごいよお！
ああつあつ、ああああああつ！」

●喘ぎループ

「はあつ、はあああつ！
気持ちい、気持ちいいよおつ、
もつと、もつと、して、していいよつ▼」

「あなたの性欲う、はああつ、私に、
全部、受け止めさせてつ▼」

「はああああつ▼

あつ、あああつ、んふ、
はあ、あつ、はあつ▼
好きつ、好きつ、すきい！
あつ、あつ、はあつ！
あつ、んんつ、んふ、んつ、
あつ、ああつあつ、ああつ▼」

●喘ぎループ

「ああああああつ、はげし、
いいつ、あつ、ああつ▼
んはあああつ、ひ、ひう、
あつ、ああつ▼」

//正面間近で話します

//演技・絶頂一回目

「はあああああああつ！ あつ、
あああああああああああああつつつつ！…！」

//射精

//正面間近で話します

//演技・絶頂後深い吐息

「はあああああ……はあ……
あああ、子宮に当たつて……
ドクドク、してるう……」

「ああああつ……▼

出して、くれたんだあ……▼

はああ……嬉しい……幸せ……▼

「好きな人とのセックスが……

こんなに激しくて幸せなんて
知らなかつたあ。

もつともつとしたくなつちやうね……▼

//正面間近から左耳元へ移動しながら囁

きます

「はあ……せーえき、
止まつちやつたあ……▼」

「出してくれて嬉しいけど、
でも、でもお……
一日で私を孕ませるには、
まだまだ、足りないよお……▼」

//左耳元から正面間近へ移動しながら囁きます

「んふふう……あなたもお……
まだまだ、全然足りなそうな顔、
してるねー……▼
おちんちん、おまんこの中で、
硬くなつたままだよお？」

//正面間近から正面後ろ向きにながら話します

「ひやつ……」

★体位替え、押し倒す感じ
//マイクに対し背を向けるようになります。顔だけ後ろを向くようになります。

//正面後ろ向きで話します

「あああああつ……▼
今度は、後ろからあ……▼

はあ、あつ……▼

★ぐちゅ十パンパン

「ああああつ、いいつ、いいよう▼

動物、みたいにつ、あああつ、後ろから、
突かれちゃつてるつ▼」

「んふ、あつ、ああつ、ああああつ、
はあつ、んんつ、あつ、ああつ！」

「さつき、出してもらつたつ、
あなたのせーえき、
おまんこいいっぱいに、広がつちやうつ、
あつ、ああつ▼」

//正面後ろ向きで話します

「もつとつ、ぐちゅぐちゅになつてつ、
動きやすくなつてつ、あ、ああつ、
あなたのせーえきで、いっぱい、
染められちゃうつ、あ、
ああつ、ああつ▼」

●喘ぎ・バック

「はああつ、後ろから、動き、
やすいんだあ▼
はあああつ、気持ちつ、
いいところ、おちんちん、当たる、
当たるうつ▼ んうう▼」

●喘ぎ・バック

「はああああつ▼ いいつ、いいよおつ▼
あああああつ▼
またつ、出ちやうのつ、いいよつ▼
いくらでも、出して、
出して、出してえつ▼」

「はああああつ、あつ、あああああつ▼
気持ち、いいつ、気持ちいいつ、
気持ちいい、気持ちいいつ▼
あつ、あつ、あつ、あつ……▼」

//演技・絶頂

「ああああああつ、あつ……
ああああああああああつつつつ▼▼▼▼」

//射精

「//正面後ろ向きで話します

「はあああああ……せーえき……
せーえき……せーえき……▼

どくどくつてえ、
子宮に届いてるよお……▼」

「はああ……▼▼▼

赤ちゃん、できちやうう……▼
幸せすぎて……はああ……▼」

「//正面後ろから正面近くへ移動しながら
話します

「はあ……どうしたの……

激しすぎて、

ちよつと疲れちゃつたのお……？」

「ふふふ、セツクス、

初めてだもんねー……▼

せーえき出すのもお……

すつごく体力使うつて聞いたよ……？」

「じゃあ……少し休憩しようか……▼」

■ ト ラ ッ ク 7 .. 私 に 全 部 任 せ て 、 私 だ け の あ
な た に な つ て ね ▼

//正面近くから遠くへ移動しながら話します

「じ ゃ ー あ …… この 椅 子 、 座 つ て ？

繫がつたまま、催眠掛けてあげる……▼

★椅子に座るなど立ち位置移動

//正面間近で話します話します

「あ …… あ つ …… あ あ あ あ つ …… ▼
ん ん ん つ 、 ん ふ 、 は あ …… つ ▼」

//正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「は あ あ …… ま た 入 つ ち や つ た あ …… ▼」

★くちゅ音・椅子ギシギシ少し

「は あ …… は あ …… ▼

初めでえ……

2回もせーえき出してくれて、

ありがとう……▼

頑張つたねー……▼

「でもお…………まだ、足りないんだね…………▼

それくらい、いっぱい、

私のこと愛してくれてるんだあ…………▼

「まりかのおまんこは…………温かくて…………

気持ちいいですか…………？」

//右耳元で囁きます

「ぐちゅぐちゅで……」

ぬるぬるですかあ……？

感じたことのない、感覚ですかあ……？」

「ふふふ……あなたが喜んでくれて……」

嬉しい……▼」

「その温かさと気持ちよさが……
あなたの全身を……包んでいきます……」

「頭までぜーんぶ、

温泉に浸かっているみたいに……
お母さんの羊水に
浸かってるみたいに……」

「心地よくて……」

あつたかくて……気持ちよくて……
あなたはこれからあ、ずーっと……、
私とセックスするたびに……
こんなふうに気持ちよくて
堪らなくなります……▼」

「はああ……▼」

とけちゃいそうな顔、してるね……

可愛い……▼」

「全身があつたかくて……

気持ちいいですかあ……？」

「気持ちよすぎて、リラックスしてえ……

身体が、ふよふよと浮いているみたいな
感覚になつていきます……▼」

//右耳元で囁きます

「私に……身を任せてくださいねえ……▼」

//右耳元から正面間近で囁きます

「まづはあ……大好きな人と……

抱き合つて、

キスをしていきましょう……？」

//演技・ディープキス

「ちゅつ……ちゅつ、ちゅう……

じゅる……ちゅつ、ちゅるる……

んふ……んんつ……」

「お互いの、舌を、絡ませてえ……

一体化して、

二人で溶けちゃうように……」

「私を温かい世界に引っ張りこむように……

ゆつくり大事に、

キスをしてみましょ……」

//演技・ディープキス・ゆつくりめ

「ちゅつ、んちゅつ……はあ……▼

ちゅつ、ちゅぱ、ちゅるる、ちゅう……

んちゅつ、んふ、ちゅつ、ちゅう……

じゅる、ちゅつ……

はあ……好き……

ちゅつ、んふう……ちゅつ……はあ……」

「ふふう、キスは、

楽しめましたかあ……？」

//正面間近で囁きます

「お口、もつとしたくて、寂しそうですね……」

／＼正面間近から右耳元へ移動しながら囁きます

「でも、今度はあ……」

今から……お耳が……性感帯になつて
私の、声や……聞こえてくる音に……
身体が……ビクビクしちゃうように……
なつていきます……▼

「...」

息を吹きかけられるだけでも……
全身が、ぞわぞわ
しちやいますかあ……？」

「それでは今から……

お耳を舐めていきます……▼

二 ゆつくりめで大事に

「んちゅつ……んふ、ちゅつ、
ちゅつ、ちゅるるつ……
んちゅつ、ふうう……」

「んふふ、身体が、

ビクビクしてきましたねえ……

お耳、気持ちいいですかあ……？

//右耳元で囁きます

「ちゅつ、ちゅうる……

ちゅぱ、じゅる……ちゅつ……ふう……

ちゅぱ、ちゅる……んちゅつ、ちゅう

……んふ、ちゅ、ちゅるる……▼」

★椅子ギシギシ

「気持ちよすぎて……

腰が動いてきちゃいましたかあ……?」

「いいんですよ、

おちんちんに正直になつて……

動きたいときに、

動いてくださいねえ……▼」

//右耳元から左耳元へ移動しながら囁きます

「じゃあ……今度は左耳に……」

「ふ―――ふ―――

息を吹きかけられてるだけなのに……

ふふふ――▼

堪らないって顔、してるね――▼」

「催眠セックスを覚えてしまつた

あなたはあ……▼

もう、私とのセックス以外では、
興奮できなくなつてしまします……▼」

「ちょっとでも興奮したときはあ……
私のセックスを思い出して、

私としたくなっちゃいます……▼」

「//左耳元で囁きます

「あなたがセックスしたくなつちやつたら、
私は……いつでも受け入れるし、
いつでもしまーす……▼」

「だから、他の女の子で興奮したり……

A Vとかも、

絶対見ちゃダメですよ……？」

「どうしても見たくなつたらあ、

私のえつちな写真でも動画でも、
いくらでも撮つていいから……
私だけ……私だけです……▼」

「//耳舐めゆつくり

「んちゅつ……ちゅつ、ちゅるる……
ちゅつ、ちゅぱあ……
じゅる、ちゅつ、ちゅう……
ちゅ、んちゅ……はああ……
ちゅつ、ちゅぱあ……
ちゅるるつ、ちゅつ……んつ……」

「//左耳元から正面間近へ移動しながら小
声で話します

「はあ……少し休憩したから……
また、したくなつてきましたかあ……?
腰がガクガクつしてきましたよお?」

「じやあ……今から、あなたはもう一度……
狼さんになつちやいます……▼」

／＼正面間近小声で話します

「気持ちいい羊水の中から抜け出して……
ガンガン腰を動かしたく
なつちやいます……▼」

「3、2、1……はい……▼」

★くちゅ音+椅子ぎし音などループ

／＼先ほどよりやや激しく
「あああ！あつ！ んんつ……：
いきなり、突き上げて……：
つ、あつ、ああつ▼」

「あつ、あああああつ、気持ち、いいつ、
はあ、あつ、あああああつ、
セツクス、好きつ、あなたとのつ、
セツクス、好き、好きいつ！
あつ、あああああつ、あつ、
はあああつ▼」

「はあつ、あつ、あああ、
んつ、んふ、ん、あつ、あああつ！」

●喘ぎ・対面座位

「ああ、あつ、んんつ、はああつ！
はげ、しつ、あつ、ああああつ、
孕んじやうつ、ああああつ、
こんな、あつ、ああああつ、
絶対つ、はああつ、赤ちゃん、
できちやうう！」

//正面間近で話します

「はああああっ！ 赤ちゃんっ、

赤ちゃん欲しいっ！

大好きなあなたとのっ、赤ちゃんっ、

赤ちゃんつつ、

ひくつ、う、ああつ、あつ、

あああああつ▼」

●喘ぎ・対面座位

「はああああっ、またっ、出ちやうっ、

出ちやうのっ！？

欲しいっ、欲しいっ、私のっ、

一番、奥う！」

「あっ、あああああっ！

子宮につ、ああああっ、全部っ、

あああっ、全部、全部、全部、注いでっ、

赤ちゃんの種つ、頂戴つつっ！」

「ああっ、はああああ、

私、絶対つ孕むつ、孕むからあっ、

あなたの赤ちゃん、絶対、産むからあ！

あつ、ああああああああつ、

あああっ！」

★くちゅ音+椅子ぎし音などループ・

激しぬ

●喘ぎ・対面座位

//正面間近で話します

「ひあああああつ、私もつ、私もつ、

イツちやうつ、

イニチやうううううううー！

「あつ、あああああああつ、あつ、

卷之三

めに
「演技」最後の絶頂なので、長め+激し

二
射精

「はあ……ああああああああ……
あああ……せーえき……
どくどく……
いーっぱい……出てる……
子宮に……注がれちゃつてる……
嬉しい……▼
」

「あああ……あなたのせーえきで、
おなかの中たぶたぶになりすぎて……
おまんこから……
溢れて来ちやつたあ……

勿体ない……
▼

「……ふふふ、大丈夫……」

私、排卵日ちゃんと記録してて、

今日ははつちりの危険日だからお

妊娠するからね……▼

//正面間近で話します

「でも排卵日は、

ずれちやうこともあるから……

一応、明日も明後日も、

中出しセックス、しておこうかあ……？」

「ふふふ、オナニーする暇もないくらい、

これからもセックス……

楽しもうねー……▼

//正面間近から左耳元へ移動しながら囁

きます

「だーいすき……▼

私だけの……王子様……▼

■ トラック8 「これからもずっと一緒に？」

★扉の音

「正面遠くから正面近くへ移動しながら話します

「……あつ▼

来てくれたあ▼

会いたかったよお……▼」

「今日はね、

あなたに見せたいものがあるの」

「じやーん……▼

これ、見たことないかな。

妊娠検査薬って言うんだよ？」

「こっち側に、線が入ってるでしょ？

これがね……陽性ってこと▼」

「ふふう、そうだよお、私のお腹の中に、
あなたの赤ちゃんいるんだよお▼」

「ほらほら、お腹触ってみて……？

まだ、実感わかないかなあ。

赤ちゃんく、聞こえますかく？

パパだよお……▼」

「そんなに不安そうな顔しないで？

まだ学生だからって

思ってくれてるんだよね？」

//正面近くで話します

「大丈夫。

「三人がちやーんと協力してくれて、

パパとママにはもう話してあるから▼」
赤ちゃん育てるの手伝ってくれるから▼」

「だから、あなたはこれからも学園に通つて、
ちやんと勉強して卒業してね▼」

「お金のことも今は心配しなくていいからね。
パパとママが援助してくれるから▼」

「あ、卒業したら私のパパの会社を
紹介することもできるから、

就職のことも心配しなくていいからね▼」

「もちろん、やりたい仕事があつたら
夢を追いかけてもいいし、
私は、あなたの妻として、
なんでも応援するから……▼」

「ふふふ……私の赤ちゃん……▼

元気に育つて、

元気に生まれてきてね……

早く会いたいなあ……▼」

「私は産休と育休取つて、

落ち着いたら復学するつもりだよお▼」

「そうしたら、あなたと同じ学年になつて、

一緒に過ごせるから▼」

絶対同じクラスにしてもらうの」

//正面近くから話します

「ふふふ、すっごく楽しみだねえ▼」

「まずは両家顔合わせしてえ……▼
これからのこと、

一緒に考えていいこうね▼」

「あ、でもお腹大きくなる前に
ウエディングドレスだけ着たいかも▼」

「生まれる前の写真も、
ちゃんと残しておきたいし▼」

「落ち着いたら子どもと3人での
結婚式あげようね」

「赤ちゃんが生まれるまで、
二人の生活楽しもうね……▼」

「それからは、3人で……
ううん、赤ちゃん、
もつと欲しいなあ……▼」

「あなたとの赤ちゃん、
絶対可愛いもん……▼
何人でも欲しいくらい……▼」

「これからもずっとずっと、一緒だよ▼」

//左耳元へ移動しながら囁きます
「ずっと、幸せに暮らそうね……▼
だいすき……▼」

・吐息

右耳、左耳、正面からで少し貰つておいた方がいいかもです。

//トラック4で使用

・耳舐め・右（ゆつくりめで唾液多めでお願いします）

じゅるつ……ちゅつ、ちゅう……
んふ……ちゅ、ちゅばあ……ちゅつ……
ふう……ちゅつ、ちゅるる……つ、
ちゅつ、んむ、ちゅ、ちゅばあ……
ちゅつ……

・耳舐め・左（ゆつくりめで唾液多めでお願いします）

ちゅつ、ちゅくつ……
ちゅ、ちゅばあ……ちゅるるつ……
ちゅつ……ふうう……
ちゅ、ちゅるるつ……じゅる……
ふう……ちゅば、ちゅつ……

・耳舐め・左・激しめ（夢中で吸うように激しくお願いします）

ちゅつ、ちゅばあ、ちゅつ、ちゅくつ、
はあ、ちゅつ、ちゅむ、じゅるるつ、
ちゅうう、ちゅつ、ちゅむ……じゅる、
ふあ……ちゅ、ちゅくつ、ちゅ、
ちゅるるつ、ちゅ、
じゅる、ちゅつ……

// トラック6で使用

・喘ぎ（正常位で獣のように突かれまくつての激しい喘ぎです）

あつ、あああああつ、はあつ、う、
んんつ、あ、ああつ、ああつ、はあつ、
はつ、んんつ、んくつ、んんんつ、あつ、
あああつ、あつ、あああつ▼

はあ、あつ、ああつ！

・喘ぎ・バツク（バツクで獣のように突かれまくつての激しい喘ぎです）

んくううう、あ、あつ、ああああつ、
は、はあつ、あつ、ああつ！
はあつ、ん、んう、あつ、ああつ！
は、はあつ、あつ、あつ、あああつ▼

・喘ぎ・対面座位（正面間近か抱き着いて耳どつちか？激しく喘ぎです）

あつ、あああああつ、ひく、
う、あつ、ああつ！
はあつ、う、あつ、あつ、あああ！
はああつ、ん、んあ、う、あつ、
ああつ、はあつ、ああつ▼